

2023/6,7合併号
氏家秀太
政策が満載



発行日 2023 年 6 月 1 日 令和の改新党
発行責任者: 三村洋 海老名市国分南 4-7-23
TEL:080-5092-2932

国分寺跡
マンション
建設問題
市民勝利!!

01 そろそろ変わりませんか? 利権排除の市民ファーストの市政を誕生させてください
「停滞から成長へ」そして「安心と改新」の実現へ

コロナも5類に分類され、いよいよアフターコロナの時代となったと言えます。コロナ禍においては、景気回復は鈍く、特に国レベルより基礎自治体の対応が大きく景気回復や暮らしに影響を及ぼしてきました。未曾有の危機だからこそ、基礎自治体である「市」は何ができたのか! 本来の能力が問われたのではないのでしょうか。

次のフェーズであるアフターコロナ、すなわちこれからの我々の安心と生活の復活をどうするのかを真剣に考え、最善の策を興じていかなければなりません。それには、コロナの新常識となった「改革は待ったなし」。しかしながら、他地域と比べて

決して効果があったとは言えない海老名市のコロナ対策。改革を断行し、県内でもいち早く復活を遂げるためには、険しい壁を最善最短で乗り越える、かじ取りのプロフェッショナルである新たなリーダーが必要です。財政、税制、経済政策、労働市場、デフレ対策、出産回復・子育て支援、エネルギー対策、人口問題など綿密な専門的対策が必要です。

実は、地方創生の実現における構造的な課題である海老名市の社会動向がマイナスに転じています。例えば、国立社会保障・人口問題研究所が発表した海老名市の人口の見通しによると、2030年までに約2000人減少するそうです。しかも、25歳以下人口は、なんと約6700人も減る見通しです。生産バリエーションが激減するのです。海老名は、既に異常な状況になっています。危機はもつそこにあるのです。

また、2021年神奈川県「住宅地価ランキンング」価格&上昇率ベスト100によれば、価格上昇率で、県内100位以内に、びっくりなことに、89位の中新田、97位の下今泉の2か所のみしかありません。近隣の市に比べ、決して良いとは言えませ

氏家秀太 (うじけしゅうた)



海老名の時事問題に強くなる新聞

ん。これは、駅近辺のみといっても過言ではない偏った開発計画による弊害です。
アフターコロナは、今まで通りにはいきません。まったく新しい市政運営が求められます。みんなが笑っている「オールスマイル」を求めて

アフターコロナ復興、海老名市政の改新に向けて、粉骨砕身、全力投球をしています。皆が「笑える革命」を起こしましょう。今後とも、EBINA TIMESで皆様と「新しい海老名」の実現に向けて考えていきたいと思っています。

02 氏家秀太の両翼イノベーションとは?
0歳と65歳以上の市民へのベーシックサービスを徹底的に向上!
0歳と65歳以上人口を増やします!

●少子高齢化の問題は、数十年前から大きな問題になることを政府も海老名市政も解っておきながら先送りしてきたのです。

その結果、経済停滞し生活が疲弊してしまっ。私も、人口オナナス時代において、低欲望社会となり、「少子高齢化」「教育(生産性)」「外国人問題を含めた労働・移民」の3つの大きな問題が顕著化すると各メディアで述べてきました。

私が住んでいる海老名市も例外ではないのです。今までの市のPRといえは経済成長、駅前開発、人口増加が主なものでした。しかしながらそれは何の裏づけもないものとしてコロナ後、現実の問題として「正体」が露わになったといえるでしょう。

●特に0歳と65歳の人口が減っている
よく「人口が増えた」「減った」と言われますが、それは総人口の話。日本全体でいえば、2019年当時直近の5年弱に総人口が67万人減っているのですが、そのうち半分近くの31万人が、残念なことに0歳と65歳の乳幼児の減少なのです。首都圏一都三県でも、総人口は73万人も増えたのに0歳と65歳児は3万人近く減っています。少子高齢化の問題は、「人口減少」に直結するから、地域の大きな課題の一つなのです。

また、ここ数年少子化や待機児童、産休、育休等、子どもにまつわることで問題になっていますが、これらは放っておけば市力低下につながるものばかり。子育てだけでなく、今

の日本の社会的課題(男女格差、働き方、多様性、選挙など)も全て子育てにつながっているというのも、早急に解決するべきものなのです。

●海老名市は生産人口シヨック(大幅減少)
国立社会保障・人口問題研究所が発表した海老名市の人口の見通しによると、2030年までに約2000人減少するそうです。しかも、29歳以下人口は、なんと約6700人も減る見通しです。生産バリエーションが激減するというシヨッキングな予想が出ているのです。海老名は、既に危機的な状況になっているのです。そもそも近年の人口増加率も厚木市や大和市の後塵を拝しています。たし、駅前開発ばかりが進んでいて、駅近辺の利用者は増加傾向にありますが、海老名市全体の魅力に欠けていた影響が続いていたのです。市政の失敗が今後一気に噴き出てくるでしょう。市民が目覚めて、早急に改善策を打たなければ、取返しのない状況になってしまいます。

●氏家秀太が提唱する好循環サークルとは
「海老名の好循環サークル」(図1)を見てほしい。

子育てにやさしいまちというブランドが確立された場合における好循環な効果です。こどもを応援すればみんなが幸せになるという流れを早急に実現したい。私の主な政策の一つですが、海老名市政が早急に取り入れるべき「発想の転換」です。
そのためのポイントは、まずは①

わくわく海老名

あたりまえのことですが「子どもたち一人ひとりが大事にされなければなりません。」
そして、核家族が増えて、子供の数が減る中で、ふたたび子供の未来を描ける海老名にするためには、親御さんも一緒に成長しなければなりません。だからこそ、現代の社会の中で海老名でこそ、子育てをしたいと思える施策が必要です。単に他の自治体の真似をするのではなく、真に魅力ある施策が必要なのです。

3月に「えびなっこ 子育て&教育シンポジウム」を開催しました。本誌3月号や、ホームページ (<https://www.ujike.info/>) にも掲載してありますが、氏家秀太の「子育て関連政策」は、日本一の政策と自負しています。シンポジウムでは、地域でできる、地域全体で子育てする、新しい地域の教育の在り方とは！についても提言を行いました。
産官民みんなで個性ある子どもを育てるには、どう取り組み、企業は

03 氏家のとっておき「子育て支援」PART2
広域から来たくなる公園を。子育ての大切なことⅡ親子で成長できる場。さあ、みんなが集う場所「むすびば」パークを海老名市につくろう。



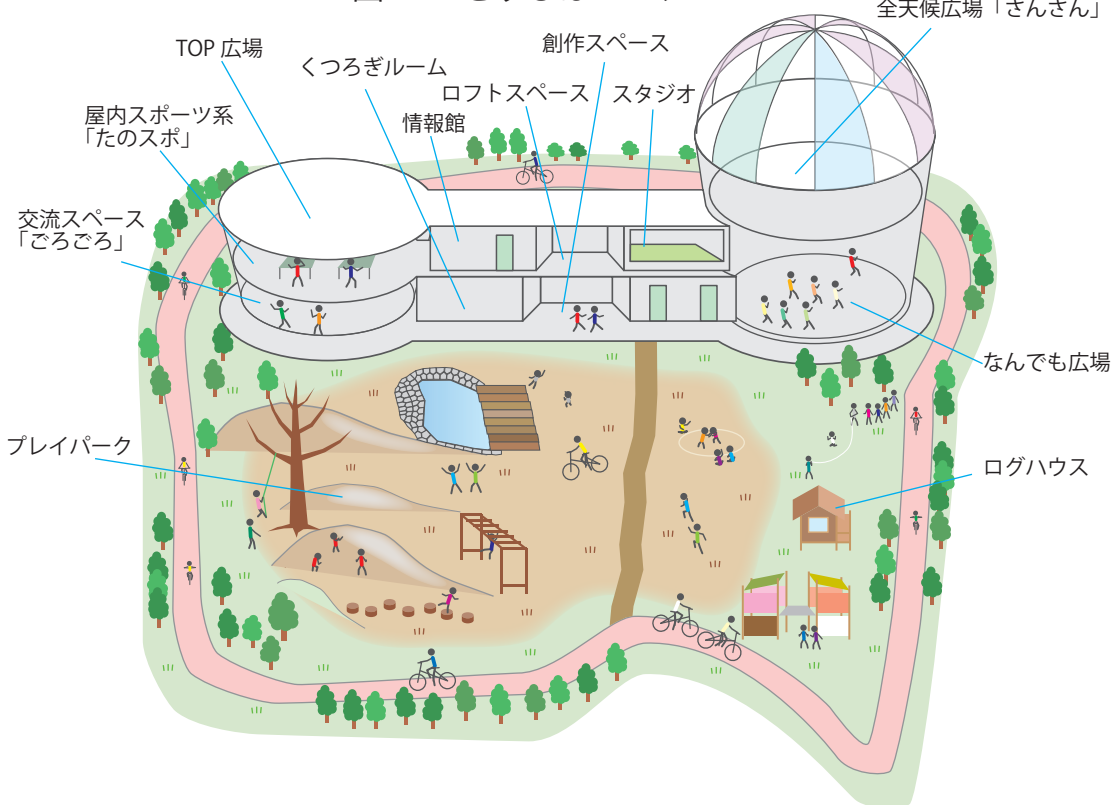
図1: 海老名の好循環サークル

既成概念からの「発想の転換」②横断的「組織の連携」③予算を倍増④ひとの育成⑤全員参加のシステム開発⑥「地域の協力」の確立をしていかなければなりません。あらゆる助成金・補助金には所得制限を無くし、特別なニーズのあるお子様も、ひとり親（父親も含む）家庭も取りこぼしのない徹底した支援をしていきます。子育てに関しては、「海老名市に移住すれば安心」とすべての項目で県内No.1を徹底することです。

ランディングが完成するのです。お金だけでなく寄り添う施策も必要です。
費用は、先に税金や保険料で市民の皆さまからすでに預かっているという認識です。だから、費用がないではなく、発想の転換が必要です。安心が人口が増え、心も経済も賑わいを生み、税収が増える。現在の財源でこれらの施策は十分に実行可能なのです。

何をすべきか、家庭での環境づくりは、そして特別なニーズのあるお子様を含め、いろんなお子様の「いろんな個性を伸ばす」「とりこぼしのない」「こどもの成長を地域みんなで考えなければならない」と思います。子育て家庭の孤独感や不安感を軽減し、子どもを生み育てやすい社会を実現するため、地域全体・社会全体で子育てを支える機運を醸成する「えびなっこ」応援キャンペーンと施策のグレードアップ、未来につながる施策を実施していきます。その一環として数ある子育ての支援の中で、氏家秀太は「パークマネジメント」の重要性を提言してきました。そして、地域ができること、それは親御さんの「子育てを支えること」だと考え、地域が、より元気に幸せになれるような施策が「むすびば」構想なのです。まったく新しい公園をつくる必要があるのです。
核家族、そして出生率1.34では、首都圏ではお子様が1人という家族も多くなりました。はじめてのお子様から親子共に成長していかねければならない時代となりました。おじいちゃんおばあちゃんの代わりに、地域が一体となって、子育ての支援や見守っていかねければならないでしょう。
良い公園があれば、周りの市からも親子が訪れてくれます。それだけ、海老名市が魅力ある市だと思ってくれるでしょう。そして、特に第2子が生まれるときは、住まいが狭くなった、生活費、教育費の負担が増える等の理由から、より子育て支援が充実している地域への引越しを考えることも多くなります。だからこそ、1人目の子育てで、他の市に目が向くタイミングは、公園ということも多いのです。
では、公園は土地を整備して遊具をおけば良いかといえば、そうではありません。「パークマネジメント」が必要なのです。海老名市には18もの公園があります。また、サービスエリアの傍に新しい公園が計画されています。しかしながら、その公園が、子育ての様々な要望や問題を解決し

図2: ~むすびばパーク~



誓「海老名市子どもの権利に関する条例」を制定します

てくれるかといえばそうではありません。ヨーロッパでは当たり前になった「パークマネジメント」を行政としては全国に先駆けて実現したいと思います。
●「むすびば」と「海老名市子ども権利に関する条例」そして「親御さんも成長できる、近隣のみんなで親子の成長を見守る海老名市全体でひとつの家族に」
それを実現するために、海老名市の子どもと大人が一緒に考え、たくさん話し合いをして「海老名市子ども権利に関する条例」を推進します。その一環として、むすびばパークをつくりたいと思います。子どもにつ

いての約束を実現する場。むすびばパークは、子どもが安心してありのままの自分でいられる、そして親御さんも一緒に成長できる場。そのため、ひとりひとりが大事にされなければなりません。
むすびばパークは子どもの「やりた」「気持ち」を軸に毎日変わっていく。子どもも大人も利用しているみんながつくり手になり、つくりつづける施設なのです。
そして、氏家秀太はこれらのことを3月に行われた「えびなっこ 子育てシンポジウム」で提言をし、採択をしました。

むすびばパークとは12の施設

- ▼くつろぎ
乳幼児（優先）と親子さんのお部屋
- ▼プレイパーク
外で、水や泥、砂、自転車、まるで自然の中で自由に遊べる。
- ▼多目的スタジオ
バンドや楽器の練習に使える防音スタジオ
- ▼さんさん
全天候広場 太陽の光がそそぐ 雨の日もOK！屋根付きスポーツエリア
- ▼ごろごろ
交流スペース ごろごろと気ままに自由に過ごせる柔らかめカーペット敷きの大きなお部屋
- ▼創作スペース
机とイスが置いてある、1階の屋根あり壁なしスペース
- ▼ロフトスペース
天井裏2階にある壁がなく風通しのいい開放的なスペース
- ▼TOP広場
日当たりのよい屋上スペース
- ▼たのスポ
卓球台やバランスポールなど体を動かす遊び場
- ▼なんでも広場
映画放映や読み聞かせなどミニホール
- ▼情報館
親御さんの為の情報収集の場 交流の場
- ▼ログハウス
プレイパークエリアでのちよとした休息所
- ▼むすびばの想い
色々なお友達が集い、出会える場所 冒険をしよう！自分の責任で自由に遊ぶ場
親子で成長できる場
新しい公園、使いながらつくり変えていく場
ありのままに、自分でいられる場
社会が保証し、学校外で子どもたちが多様に育ち、自ら学べる場
子どもたちが自主性を最も重んじる場
海老名市の子どもの活動・情報・ネットワークの拠点となりえる場

海老名市で起きている 最新問題

1 市政の逆インフレ対策の問題

公共施設駐車場有料化に続き、4月から下水道料金が10%値上げになり、国民健康保険(国保)税も世帯構成や所得によりですが、4~9%の引き上げになることもあるとしています。

長引くコロナの影響とこの度のインフレで私達の生活状況が大変厳しくなっているにもかかわらずです。ガソリン代や食料品も値上がりしている中で、生活に直結する下水道料金や、国保税の引き上げをこの時期にすべきではありません。

誰もが安心して医療にかかれる国民皆保険制度の根幹をなす国保は、低所得の方も多く、保険税額を抑えるために、公的な支出が不可欠。海老名市も、2年後の2025年にはこれまで被保険者の負担を抑えるために投じていた、市の一般財源からの繰入れをゼロにする「赤字解消計画」を作成し、今後さらなる国保税の引き上げが予定されています。

特に下水道などのインフラ施設の劣化分を市民に押し付けるなんてことはあってはなりません。

問題→ 国保税支援打ち切り
下水道値上げ問題

対策 海老名市独自の施策が無い
国保税支援を形を変えて再開
下水道料金を以前の基準に戻す
海老名市独自の施策が無い

2 駅前開発に偏る海老名市成長戦略問題

対策 再計画の実施
海老名全体の計画へ移行
12地域の制限
農業近代化エリア
パークマネジメントエリア
アクティヴシニアタウン
新エネルギー開発重点エリア
GX推進エリア
DX企業化推進エリア
伝統文化継承エリア
サードパーティエリアなど
ハウジングファースト政策

3 公共施設の不明瞭な老築対策、効率化計画

対策 36施設の再位置づけと
リニューアル
内容の充実化と変換
予算の透明化

4 家庭ゴミ有料化問題と新エネルギー問題

いまだに、納得できない家庭ごみの有料化問題! 商業ゴミが増えたつけを市民におしつける“ありえない”愚行から、3年が経ちます。コロナ禍のこともあり、有料化による家庭ごみ減の効果は正確に測れないが、依然として家庭ごみを有料化としたことに対し黙然としません。

対策 ①有料化の廃止
そのうえで綾瀬市、座間市との連携を再強化
もしくは
②有料化を継続するが、回収方法の見直しを図り、1Lあたり1円程度まで減額する
焼却施設からエネルギーを創出する
新エネルギー対策の促進と
専門部門の創設
太陽光、蓄電池、ZEHの推進

5 高齢層のより高齢化に対する対策

対策 シニアの暮らしのお手伝い
おまもりサポートの導入
まごころポイントの支給(70歳以上)
タクシー無料利用など
介護費用の補助
ケアワーカーの支援
高年クラブ 150クラブを目指す
運転免許返して 毎月まごころポイント増
補聴器購入費用の助成
知恵蔵食堂
認知症の人を支える
オレンジサポーター制度
まごころ講座
認知症あんしんプロジェクト
診断費用助成
認知症サポート給付金3万円
オレンジ手帳支給 地域で支えます
アクティヴシニアタウン地域の開発

6 子育て、教育政策 人口オーナス問題

対策 日本一の子育て支援(別紙を参照)
公園の整備(パークマネジメントの実施)
親子で成長する公園と流入を促す魅力ある公園づくり
「むすびば」事業
海老名市子どもの権利に関する条例制定

7 地価上昇鈍化問題

対策 駅前の再コンセプト設定
両翼イノベーションの実施
市長の強力な情報発信とブランディング

8 海老名中央図書館問題

対策 指定管理内容の見直し
ほんのまちへ
中央図書館の蔵書は約28万冊であるので、座間市並みの40万冊とする。
貸出数 30万冊以上へ
文化の発信機能の強化
移動図書館車導入
図書館バリアフリー環境の充実へ
絵本の宅配便
読み聞かせイベントの増加
海老名文化情報発信基地化へ

9 海老名駅北口開発に伴う換地問題 海老名駅西口駅前 換地問題

北口開発を発端に、不当な換地、補助金支払い、家賃の優遇など、癒着が問題視されています。市民からの監査請求も。市政に厳しい目が向けられています。

問題→ある利害関係者に、5億の補助金

無償で土地貸
破格の土地賃料
不当な短期賃貸契約
利害関係者に優先的に西口駅前の土地を換地

対策 責任の所在を明らかに
利益供与の是正

10 自然災害への対策停滞問題

対策 避難所の冷暖房対策
自治体蓄電池の増量
海老名レスキュー隊の創設
まごころ緊急サービスの実施
ハウジングファースト対策

11 労働生産人口6700人減少問題

対策 両翼イノベーションの実施
ケアワーカーの補助
子育て日本一
えびなっぺ支援の創設
まごころサービス 等
中小企業支援
若者支援
奨学金肩代わり
入学金支援
起業支援
12エリア開発
ハウジングファースト政策

12 公共施設駐車場有料化問題

2022年5月9日から公共施設駐車場が有料になりました。
有料の為の初期経費は、電源、路面舗装、設備機器の工事費1億3,897万円にも上ります。今年1年間の運営経費は、機器メンテナンス、トラブル対応、電気料金など2,400万円の予定。有料化による収支見込みは、当初は年間1億1,300万円と想定していたが、年間7,000万円となる見込み。

平日の運動公園はガラガラなど、公共施設の充実化が図られる前に、駐車場を有料化するという、杜撰な施策を行っています。

対策 公共施設の駐車場の有料化ポイント
1. まずは、公共施設の魅力と利用頻度を向上
2. 現状駐車場施設の改善止まりで運用・シルバー人材の活用・料金システムの矛盾
3. 投資金額1億3,897万円と指定管理(運用損と運営見込みの甘さと既得権益)

13 国分寺跡地にマンション建設問題

問題→過去に景観の為の「文化財保護条例」を制定すべきであった。
国に当該土地を購入するよう働きかけるべきであった。

マンション建設において、ある程度の譲歩を業者側に求めるどころか推進するような対応をとっていること。

その他 駅前などで高級マンションばかりを海老名市の開発の主要戦略としており海老名市全体の開発計画がない。

対策 業者側に対して、あきらめずに少しでも譲歩を引き出すこと。⇒当事務所と市民の皆様の反対で1歩前進 市長と行政に譲歩求め、工事の見直しの決定!!
マンション建設に対して、反対をし続け、国立裁判のように(別の機会に紹介します)業者側との話し合いや対応を続けること。具体的な見直しを引き出す!
その他国分寺跡地の他の周りの土地に対しては、今後このような事態にならないように市が本件と今後の対応を明確にすること。国への買取の働きかけ、文化財保護条例制定などを推進する

04 新しい高齢者へのベーシックサービス 「まごころお守りシステム」

日本初！地方自治体が開発する新世代高齢者ベシックスサービス。それが「まごころお守りシステム」です。

その苦勞や苦しみは言葉だけでは伝えきれません！今、介護の現場、当事者の間では、さまざまな問題や課題が溢れかえっています。しかし、このような困難をただただ傍観するのではなく、皆さんが声をあげて何かを変えようとしなさいといけない時だと思っています。

また、これは高齢者だけの問題ではなく、30代から50代の市民の共通の問題でもあるのです。高齢者の未来が明るくなれば、30代から50代も安心して海老名に住み続けてくれるのです。

そうした中で、2025年には介護問題が大きな問題となり爆発しようとしています。人口ボリューム

の大きな団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となるのです。年齢が上れば、多くの人が介護を必要とするようになります。介護を必要とする人の割合（要介護出現率）は、70～74歳では5.8%に過ぎませんが、

75〜79歳では12.7%、80〜84歳では26.4%、85歳以上では59.8%にもなります。高齢者の数だけが増え続け、若手の数が減り続けるような社会においては、高齢者福祉も先細りになっていくのです。だからこそ、氏家秀太は「両翼イノベーション」を訴えているのです。それが、結果的には、効果的な方法だからです。

特に、日本のように、現役世代が高齢世代に仕送りをするような形（賦課方式）で社会保障を成立させてきた国においては、今後の高齢者福祉の減退は避けられません。

一般的に介護期間は、約10年を想定する必要があります。在宅介護には平均で月額約8.3万円がかかっており、10年換算では1人あたり約1000

万円が必要です。それにもかかわら

ず、収入のない高齢者世帯（働いていない世帯）に限って見ると、平均貯蓄額は577万円であり、そのうちの55.2%が貯蓄ゼロの状態です。アクティブシニアという言葉の陰で、変わらず高額な介護費用の問題が存在しているのです。今後、日

本の高齢者福祉の財源が厳しくなっていく中で、物価高と合わせて、家計に対する介護費用の問題は大きくなり続けるでしょう。近未来の介護問題大爆発はもう目の前なのです。この問題に正面から取り組まない現市政にはまかせてはいられません。すぐにでも、取り組むべき優先課題なのです。

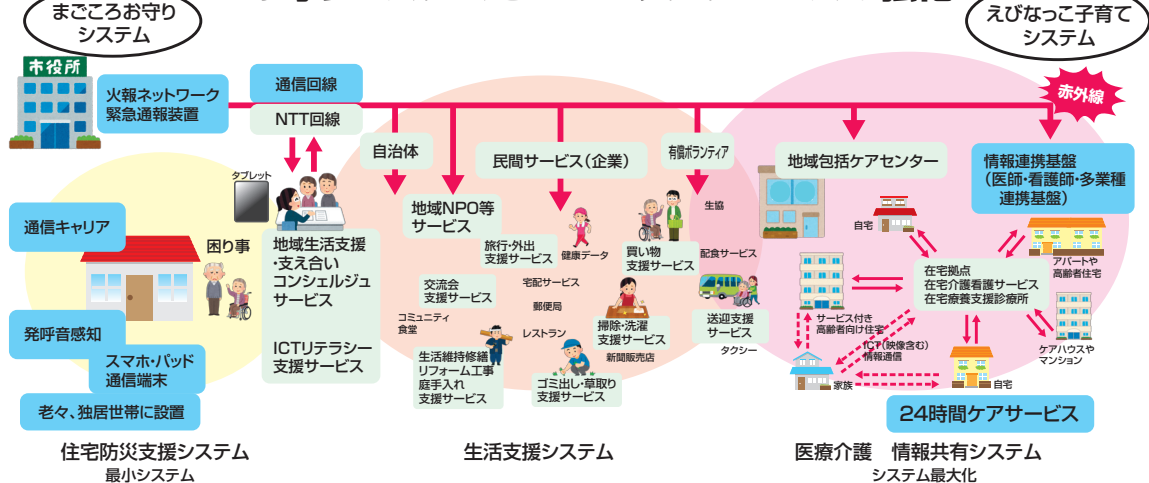
また、高齢者の問題は介護だけではなく、健康管理から未病対策、買物支援や通院支援、生活快適サービス支援などのベーシックサービスを向上させることが早急に必要です。

そこで、既に氏家秀太が企画を進
行させ、完成しつつある高齢者快適
向上システム「お守りまごころシス
テム」が、効果を発揮します。図3
にあるようなベシックサービスが、
各家庭に配られるタブレットを通じ
て実現されるのです。赤外線により、
いざという時には、危険信号を発信
したり、簡単なお手伝いや買い物依
頼もボタン一つで解決できるのです。

また、登録業者や企業、ボランティアはすべて市内で完結。市内で経済も回るのです。配布される「まごころポイント」は、単なるクーポン券とは違い、市内で流通され、海老名

市への交付金を1.1倍から1.3倍と膨らませることができるとのこと。単に、補助金をバラまくのではなく、その何倍もの付加価値を市内で生み、経

図3: お守りシステムとベーシックサービスの強化



済とまごころを活性化させるので
す。

市内の業者や企業、
ボランティアとタブ
レットのボタン一つでつ
ながります。

1. 簡単なお手伝い
 - ・電球交換・お庭の掃除・買い物代行・窓拭き・重たい物の移動・ゴミ出し・衣替え・玄関掃除・部屋の模様替え・ガーデニング作業・植木鉢の移動・すだれの付け替え・カーテン付け替え・日曜大工・タクシーの手配・荷物の梱包
2. 専門スキルの提供
 - ・エアコンクリーニング・自宅の除菌・エアコン取り付け・レンジフードの掃除・鍵の交換・車のタイヤ

シニアのあらゆるご要望に
ワンストップでお応えする「課題解決」事業



図4: 氏家秀太のまごころサービス

・日用品・食品・飲料・サプリメント・家電・衣類・パソコン・携帯・お孫さんのプレゼント・ガーデニング用品・防災グッズ・脳トレドリル・集音器・ルームライト・布団・トレーニング機器・賃貸物件・老人ホーム

氏家が高齢者問題を考える中、最終的に辿り着いたのがこの「高齢者の暮らしのお手伝いまごころお守りシステム」です。

ある日、電球が切れた暗い台所ですいぶん前の新聞を読んでもおられる高齢者の方に出会い、地域や顧客の高齢化を意識するようになりました。世の中にはお困りごとが溢れているんだなと思ったことが私のベーシックサービスを根本から変えなければならぬと決意したきっかけです。自分ができることはないかと考え抜いた結果、このシステムをつくらうと思ったのです。そして、このシステムは、「オールスマイルシテイ」の根幹のサービスでもあります。

介護を理由として仕事をやめるいわゆる介護離職が問題という声があります。現在の日本では、毎年約10万人が介護離職をしているのです。しかしこの数は、毎年の転職者数が約300万人であること、及び、出産退職が毎年約20万人であることと比較したとき、目立たない問題と言えます。もちろん介護離職は、本人たちにとっては恐ろしく重要な問題であるのですが、社会的に見たときにはことさら大きな問題とはならないのです。

今後の日本において、本当に重大な社会問題と言えるのは、圧倒的多数となる仕事と介護の両立をするビジネススクエアラーのパフォーマンス支援です。高額となる親の介護費用の援助のみならず、自分自身の介護費用を捻出するために、介護離職という選択肢は一般のビジネスパーソンには存在し得ません。仕事と介護の両立支援プログラム（LCAT）は、2年後の2025年時点で、日本のビジネスパーソンのうち約3割（約2000万人）が、深刻な介護問題によって、仕事への悪影響を経験することを明らかにしています（サンプルサイズ3万2933人）。介護離職は、水面の上に見えている小さな氷山であり、水面下には、より巨大な問題が潜んでいるのです。育児介護休業法（1991年公布、1992年施行）によって、日本企業では、介護を理由とした休みは取得しやすくなっています。しかし、こうした制度を利用してはいるビジネススクエアラーは全体の5%未満と非常に少ない。ビジネススクエアラーたちが本当に求めているのは「休みやすい柔軟な職場」ではなく、介護費用を捻出するために「休むことなく介護を行う具体的な方法」だからです。海老名市においても、積極的に今から、支援策を講じていかなければ、これからますます爆発的に増加する介護

05 介護問題を紐解く N.O.1 ビジネスケアラー問題

問題にはとてもたちうちできません。氷山が見え始める前にしっかりと手を打っていきける市政にならないければならないのです。ただ補助金や助成金を拠出するだけでなく、下記の対策をベースに氏家秀太が提唱する地域で支える仕組み、介護に関するベーシックサービスを市内で高度に提供できる仕組みをつくらなければなりません。解決策は「オールスマイルシティ」「まごころお守りシステム」の中にもあるのです。

1. 介護保険制度の充実
市が介護保険制度を充実させ、必要な介護サービスを受けられるようにすることが重要です。また、介護保険制度を利用するための手続きや情報提供をスムーズに行うことも重要です。
2. 介護職員の支援
虐待や介護離職、孤独死などが代表的ですが、課題や問題点を把握して対策を考えておくことが重要と言えるでしょう。
3. ビジネススクアラーの問題解決
介護問題の原因や対策についてざっくり説明すると
 - ・高齢化社会が進む中で、介護問題は注目を浴びている
 - ・介護難民になってしまい介護施設に入れなくなるなど、多くの問題が指摘されている
 - ・介護離職をしてしまうと、経済的にも肉体的にも負担が大きくなってしまう対策法を知っておくことで、介護問題に直面しても冷静に対処できる



氏家秀太

うじけ しゅうた
地域活性化プロデューサー
ビジネスコンサルタント
行動心理学者
キャスター
著述家



プロフィール

海老名市に3歳の時に移住。現在海老名市在住。(株)中央経営研究所代表取締役社長。1967年生。

地域活性化プロデューサー、行動心理学者、経営コンサルタント、ラジオパーソナリティとして活躍する。大手企業をクライアントとするコンサルタント会社、中央経営研究所で社長、山口県の公共工事を手掛ける(株)九内でCOOを務める。現在は「生産性向上」「地域OSづくり」「地域活性化活動」を爆進中！



「志の始まり」

大谷小学校(5年生徒会長 杉久保小学校(6年生徒会長 大谷中学校(3年生生徒会長 私立鎌倉学園高等学校(3年生生徒会長)として、「みんなの為に！生き生き青春」をモットーにフレッシュに活動。既に政治への第一歩はこの頃からか？(笑)

2011年東日本震災の際は、延べスタッフ200名を連れ、農作物の風評被害と闘う。私財を投げうち、全国の飲食店経営者をいわき市に集めて農家の方々とマッチング事業を展開する。地元農家の方々、青年団と共に青年団先頭に立つ、その模様は各TV報道番組で放送され話題となった。

「チャレンジ精神」

大学在学中には、若千21歳にして、甲子園でのコンサートプロデュースを音楽業界最年少で開催する。その年のNO.1化粧品「リップス」や有名タレントのプロデュースを手掛けるなど、さまざまな店舗、商品のプロモーションに携わる。

その後、話題や人気の事業のプロデュースサービス業等のコンサルティングを中心に、手掛けた案件は3000件以上。また、500を超える赤字事業を黒字に立て直す。特に難しいとされている若年層、女性のマーケティングに定評があり、つくる商品は必ずヒットするという伝説もある。各地域でWebグルメサイトNo.1検索数を誇るチェーン店など数多くの人気店を一気に全国展開するなど、何もかもが規格外のサービス業界の革命児である。そして、日本を代表する著名人とNPO法人フードビジネススマネージャー協会を設立し、業界の人材育成に尽力する。

また、メディア界でもその能力を発揮し、手がけるTV、ラジオ番組は人気



を博した。また、メジャーWEBサイトでも人気の連載を持つなど、情報発信力には抜群の実績を残している。コンサルタントとしてのスタンスは、生産性を高めることに執念を燃やし、M

&A CRM、業務改善、戦略人事、DX、企業戦略イノベーションなどVUCA時代に対応する経営手法を開発導入している。

1000人を超える成功者と人生を共にして生み出した成功哲学や手法は、マスコミでも話題に！感動人間を育て上げる教育手法で育った人財は今でも一線で活躍している。連載、MOOK、単行本など著書多数。大学講義、講演やセミナーは年間100回以上にも及ぶ。10万人が受講したD2P訓練講師を務める。中小企業診断士・行政書士・1級販売士・宅地建物主任者・調理師…他多数



「50歳で人生の 変革期」

伊能忠敬のように、50歳を超えたら世の中の為に働く！その決心から、それまでのビジネスの線から退き、「低欲望社会に打ち勝つ」活動に専念する。

すなわち、教育問題・移民問題・少子高齢化各問題解決にとり組んできた。

大手企業の研修、大学での講義、研究、働き方改革の浸透など、各ステージでの教育や現場での移民問題(外国人の労働者受け入れ)の対応、そしてアクティビルバー世代の人生第2次ステージの活動支援を行う。また、日本全国の地域事業創生を積極的に取り組む。そしていよいよ地方行政に挑戦へ。

●HP

<https://www.ujike.info/>

●Twitter

<http://twitter.com/ujikeshuta>

次世代人財



電気の専門家
平良 学さん
たいら まなぶ

平良さんへの質問

- 年齢は？…43歳
- ご家族構成は？…5人(妻 子供は4人 社会人高3 中3 5歳)
- 座右の銘は？…不撓不屈
- 今関心があることはなんですか？家事 妻の役に立とうと家事を猛特訓中。特に掃除と整理整頓！
- なんの専門家なのでしょうか？

電気系です。新エネルギー設備についても最近は特に取り組んでいるところです。家庭用の太陽光パネルや蓄電池、災害時に役立つ大型の蓄電池などはこれからますます重要になってきますので、私の知識が活かせればと思います。

また、電流効率を良くする機器も製造していますので、海老名市内に普及のお手伝いもしたいと思います。

●海老名でやりたいことは？

まずは、「中小企業対策」…災害復興時に地元の中小零細建設業の利活用が必要なことから、国の出先機関の発注する公共工事では、当該地域の中小零細企業の受注割合を一定程度確保する旨定める、公契約条例を定められるよう行動していきます。そして「エネルギー対策」…太陽光、風力、地熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入については、障害となる規制の見直しを不断に行うとともに、

地域社会がうろうろ仕組みづくりを構築することにより、地方経済の活性化を図ります。私は、太陽光や電気の専門家でもありますので、しっかり各課題を解決していきたいと思っています。

●今の市政に求めるものは？

人口と経済等、縮小に転じた社会においては、利権を優先するのではなく、市民に目向いた地域の運営を徹底するという視点を持てば、地方はまだ成長できるチャンスに溢れていると思います。いかに新たな仕組みをつくれるかです。今年ありがたいことに、選挙があります、新しい海老名になれるチャンスかと思っています。

06

世界で初めての 氏家秀太が提案する
オールスマイルシティ構想

オールスマイルシティは、「未来都市の玉手箱」

〓 環境＋スマート＋災害〓対策

今が、海老名市の未来をつくるラストチャンス
今の海老名に必要なのは市民参加の街づくり

(つくりなoshi)



図5: オールスマイルシティ

<環境＋スマート＋災害対策>

これからの街づくりは、環境に配慮するのはもちろん、少子高齢化加速時代に早急に対応し、だれも取りこぼさない、格差も是正するなど市内で様々な課題を解決し完結していく必要がある。

今の海老名市政は、駅前を中心に開発を進め、高級マンション建設を加速する。その弊害として、国分寺

跡地マンション建設問題（本紙今起きている問題や3月号を参照）や商業ゴミ問題など駅前だけの人口を増やし、しかも高級マンションを多く作らせて、どんな新住民を海老名に呼びたいのか全く未来が見えない。見せかけ、目の前のことだけしか今の海老名市政には頭に無いようです。駅前雰囲気を見れば一瞬住み

たいと思うかもしれませんが、住み続けたい海老名市を実現するためには、5年先10年先の海老名市の未来像をたった今からつくっていくかなければならないのです。

市民の皆様と氏家秀太と一緒に描き 共につくる海老名市の未来とは

日常の道路や歩道は、高齢者も安心して歩けますか？あるいは災害避難所にスムーズに行き着くことのできるような道路の整備や空き地の緑化など、市街地はしっかり整備されているのでしょうか？

この20年間の海老名市の街の開発は、海老名駅周辺の開発を主に、その他、駅前、厚木駅や国分寺跡地など大規模マンション開発が目につく。海老名駅から離れた、数キロ先の海老名市の全体の開発や課題の解決は、あまり思いつかない。

どうも、海老名市政のTOPは見栄えの良い開発しか興味が無いようで、我々市民の日常の困ったは興味の外のようです。最近、本紙著者である氏家秀太によく、市民の方々から、陳情や海老名の問題について相談を受ける。議員でもない著者に陳情をいただくほど、海老名市の現在の蓄積された問題の解決はもう待った無しなのだと思います。

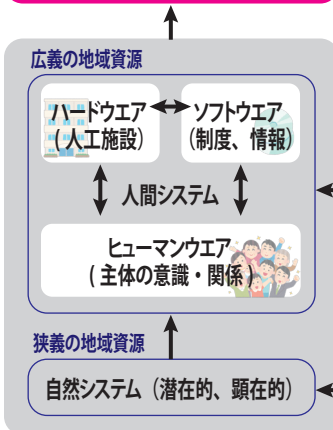
街づくりに焦点を合わせ促進させるための条例も設ける必要があります。そこで重要なのは、行政の力に頼るだけでなく、徹底して市民参加による街づくりを実行することにあります。

行政、市民が一体となった街づくりは、地元密着の企業や商店、環境ビジネスに熱心な企業の注目を集めることにもなります。多くの企業が自社の技術をアピールする目的もあり、先端技術を海老名市に積極的に提案し、普及に努めようとするでしょう。

氏家秀太が提唱する「オールスマイルシティ」は、そのような背景のもと、「未来都市の玉手箱」というのも過言ではありません。実に多くの

図6: 未来都市の3つのウエア(ハード・ソフト・ヒューマン)

未来都市における活動、施策、暮らし、産業



未来志向のまちづくりポイントが、ひとつひとつまばゆいほどに輝く宝石のような施策が、ぎっしり詰まっているのです。

氏家秀太が提唱する「オールスマイルシティ」とは？

まず、オールスマイルシティの骨格は、13のエリア開発と、それぞれがハードウェアだけでなくソフトウェア、さらにこれからはその中心にヒューマンウエアが必要です。

海老名市政の情報発信は「切り取り」で、聞こえの良い情報ばかりを

「住みたい街」から「サステナブルシティ」「住み続けたい街」に早急に「改新」していかなければなりません。

はならないのです。駅前開発優先で見かけがいい住みたい、ではなく、本来であるならば、実際に海老名市全体の市民が安心して安全に幸せに住める環境づくり住み続けたいとなるのではないのでしょうか。未来図が描ける、5年先10年先の状況の変化、リスクへの対応をしっかりと市政のTOPは市民に示さないとイケないのではないのでしょうか。その解決策が「オールスマイルシティ」であるのです。

子高齢化対応の遅れた分を取り返すだけでなく他自治体より新しい対策やシステムを構築して、高齢者も安心して歩ける、あるいは災害避難所にスムーズに行き着くことのできるような道路の整備や空き地の緑化など、市街地の大改造をし、網目のような目が届く、自治会や新たなコミュニティを創出するなど、海老名市がやるべきことは山積みです。

ハウジングファーストとコミュニティ

街づくりを促進させるための効果

な条例も設けなければなりません。行政の力に頼るだけでなく、徹底して市民参加による街づくりが必要です。

また、行政、市民が一体となった街づくりは、環境ビジネスに熱心な企業の注目を集め、多くの企業が自社の技術をアピールする目的もあり、先端技術を海老名市に積極的に提案することもあっていいでしょう。

だからこそ、オールスマイルシティは「未来都市の玉手箱」になりえると言ってもいいでしょう。

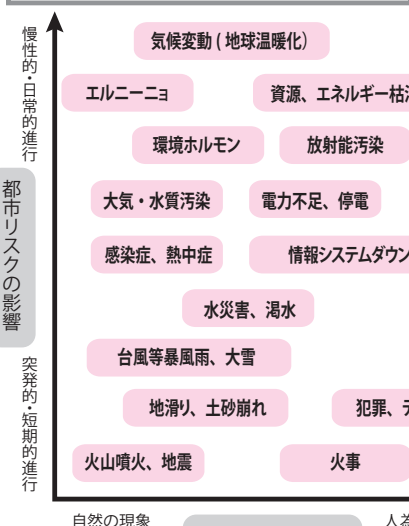
海老名市は駅前開発と駅近くのマンション開発とハードウェア優先開発を続けています。本来であれば、網目のように市民を守る市政のサービスが行きとどき、守ってくれるシステムができていないといけません。

今起きている災害は、市の抱えるリスクといってもいいかもしれませんが、災害を含む市のリスクは図7の通りです。様々な災害に対応できる、また強い基盤を作らなければなりません。また、起きてしまった後の

課題をしっかりと表面化させています。都市の問題点を洗い出し、海老名市民の皆様とさらに意欲的に街づくりに取り組めるようにしていきたいと思っています。

環境に配慮するのはもちろん、少

図7: 都市の抱えるリスク



の街づくりも大切です。災害は人命や家屋の喪失、地域のインフラや産業への甚大な被害をもたらし、生活再建や地域復興に長い時間が必要になります。その過程の中で、被災者はさまざまな心理的影響を受けることとなります。生

「スーパーエコハウス」の基準を市が定めます。税制上の優遇を！

家庭で使うエネルギーはすべて再生可能エネルギーを目指します。電気、ガスなどの再生可能エネルギーを市内でつくりだすことと総合的に供給してくれる企業と契約をします。

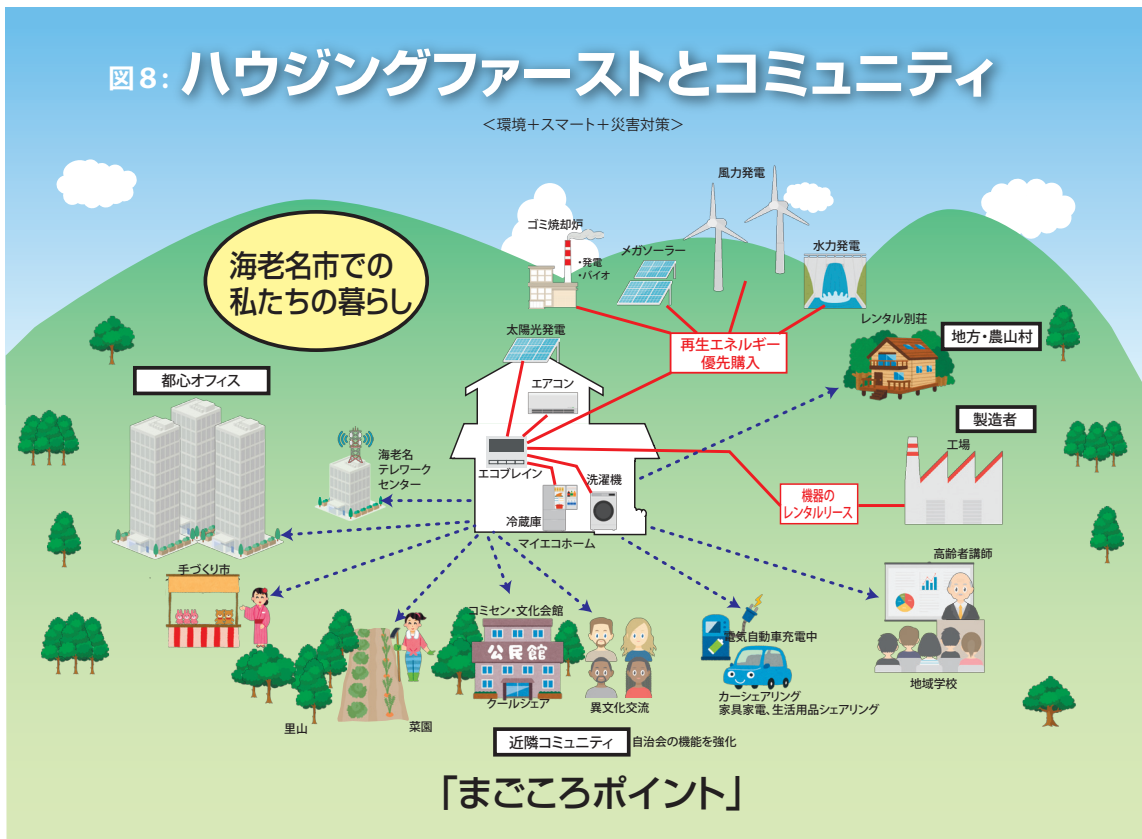
太陽光発電システムで発電した電気と、企業が発電した山間の水力発電や洋上の風力発電の電気を調達し、それらを組み合わせることで、電気を安定供給をしていくのです。

ガスにおいても、家庭や食品工場、飲食店などから出た生ゴミを集め、

発酵させてできたメタンガスを発生させます。地下から掘り出した天然ガスは枯渇しますが、生ゴミでつくったメタンガスは再生可能です。「わが家は、地球にやさしいんだ！」と言える家庭が海老名市の中にいっぱいになることを目指します。

災害に強い（レジリエンス）な街づくりを！

地球温暖化による自然の変化は我々の想像をはるかに超えて災害として我々に襲いかかってきます。異常豪雨などがそのひとつ。もちろん大震災が起こることへの不安もあります。幸いにもまだ関東大震災は起こっていないのですが、いつ起きてもおかしくない状態は続いています。現在の海老名市の災害に対する施策はあまりにも不安です。氏家秀太は



直ちに街の総合計画に「レジリエンスな街計画」を作成し、市をあげて自然災害のリスクに備える対策をとっていきます。

しかも、それは海老名市全域に網の目のように災害リスクに対する分析と対策その後の復活仮想プランをつくらないといけないのです。また、猛暑に対する備えや普段の健康対策として、高齢者などの社会的弱者に対する安否確認をする情報システムを整備します（まごころお守りシステム）。自治体の権限強化を図り、近隣住民が集まって「異常気象・気候変動適応行動計画」を作成し、猛暑や異常豪雨、大地震などの際にどのように行動するかを、地区ごとに考えています。避難訓練も徹底して行っています。

異常気象による停電も多くなっていることから、公民館には蓄電設備が設置され、停電時の安全な避難場所となるように徹底した準備をしています。

日本中を見れば、さまざまな都市の形ができてきました。まだまだ発展途中ですが、その地方自治体の特徴をつくり少しでも他市と差別化を図ろうとしているのです。すなわち、現在の海老名市は、駅前の開発と高級マンション開発と公共施設の整備などハードウェア中心の開発ばかりを行い、差別化を図ろうとしています。

図9: 東日本大震災以降の革命の行方～これまでの革命の比較

	産業革命	エネルギー革命	社会革命
時代変化の契機	明治維新	昭和の戦後復興	東日本大震災
その時点の人口規模	3300万人	7200万人	1億2800万人
エネルギー転換	バイオマスから石炭へ	石炭から石油へ	原子力・石油から再生可能エネルギーへ
スローガン	殖産興業 富国強兵	欧米追従 日本列島改造	地方分権 市民社会 持続可能
主導する主体	国家（天皇制）	国家（民主制）	地域・地方自治体
主導する産業	軽工業	重化学工業 後に電気電子、自動車産業	グリーン イノベーション産業

市民議会
開催

さあ今こそ 市民参加の市政へ モデルチェンジしましょう！

これからは拡大成長路線ではなく、質的发展を目指す時代に入っていくことです。2011年の東日本大震災は、新たな豊かさの創造に舵を切り直す契機になっています。図9の通り、今は大きな変革期なのです。1995年の阪神・淡路大震災後の復興では、市民ボランティアが活躍し、NPO法制定の基盤が築かれました。東日本大震災後の復興は、市民が主体的に活躍する時代への変化をさらに進めることになってきたのです。

全ての都市が成功しているわけではありません。失敗例の多くは拡大成長志向から脱却できていないことが原因です。しかも、箱物行政と言われるように、あくまでもハードウェアにこだわる自治体はすでに死に体となっているといっても過言ではありません。

明治維新では、殖産工業や富国強兵をスローガンにしました。戦後復興では、拠点開発や大規模開発が進み、日本列島改造論が政治スローガンになっていたことも記憶に新しいところです。

8月12日(土)
13:45～16:00
海老名市文化会館
120 サロン
海老名市めぐみ町6番1号

13:45 開場
14:00 開演
氏家秀太の活動報告と懇談会
16:00 終了

第8回

懇談会

氏家秀太と
新しい海老名を
つくる会

参加無料

2023年度

うじけ しゅうた

いつの間にか

海老名市が衰退している危機！
市民みなでこの危機を乗り越え方を考えよう！

定員80名（無料）
＊電話やメールでの申し込み可能です。
席に余りがある場合、当日参加も可能です。

参加申込みは
こちらから



主催 氏家秀太事務所（氏家秀太後援会）
海老名市国分寺台5-13-8



「市民議会」設立へ 新しい海老名へ緊急三大策

1 「オールスマイルシティ」の実現へ さあ今こそ 市民参加の市政へモデルチェンジ！ 日本初最高諮問機関「市民議会」制度を導入します！

子育て対策

・医療費 高校まで無料（実現化へ） ・保育料
無料 ・給食 中学まで無料 ・パークマネジメ
ント「むすびば」 開園 ・おむつ無料 ・療育・
特別なニーズのあるお子様への支援向上 ・氏家
の子育て支援 日本一150の施策実施

高齢者対策

・お守りシステム（日本初）導入 各家庭に無償 健
康管理・まごころサービスシステムの導入 移動・利
便性の向上 アクティブシルバーの方の活躍の場の提
供 医療補助制度の導入 「海老名市子どもの権利に
関する条例」の制定

中小企業・農業対策

海老名ファンディング事業
スマート農業化
地元需要減少零細企業の
市内物流活用事業の実施

まごころポイント事業

新しい感謝の印と海老名コイン
交付金を2倍に活用

女性活躍支援

仕事復帰支援
女性起業家支援

市民会議の創設

市政は市民の意思が
決定します

両翼イノベーション
0-4歳 70歳以上



2 「アフターコロナ対策」強靱に実施

セキュリティ モビリティ エネルギー の革新的課題の解決
DX（デジタルフォーメーション）GX（グリーントランスフォーメーション）、
市職員のリスキリングの推進 デジタル推進条例の制定

3 「市内あらゆる格差の是正」

ひとり親支援の拡充 中小企業支援強化、生産性向上施策 第1次産業の経営革新支援
貧困救済 障害のある方への支援強化と住みやすい街へスイッチ
各手当の拡充大学・高校 教育費の100万円まで肩代わりなど。



氏家の約束する政策（海老名編）

主な施策！17選！



1、貧困格差是正と市民皆幸福制度の実現

若者の活躍・子育て支援と高齢者の安心を！

2、アフターコロナ ニューノーマル緊急対応事業

セキュリティ モビリティ エネルギー対策強化

3、クリーンなまっとうな政治を実現します

4、安全と安心の自己「お守りシステム」の確立

5、公契約条例の制定

6、中小企業の徹底支援 停滞から成長へ

7、高校までの医療費無料化

+教育費の無償化

+奨学金肩代わり制度の実現

8、子育て政策 充実度神奈川 No.1

ペッパー君の生みの親、林氏と
AIロボットについて討論！

9、下水道料金値上げ撤廃と国保税支補助打ち切り反対

物価高対策の実施 国保税支援

10、公共施設・公共サービスのゼロベースの見直し！

公共施設、駐車場、利用方法・利用料金の見直し

11、地元中小企業、第1次2次産業の

ブランディング&スーパーセール

12、中学校まで給食無料+健康給食の実施

13、教育の後退化に待った！

14、少子高齢化のスーパー支援制度の創設

15、海老名特別開発12区域の制定と事業支援

土地など海老名の価値を高めよう

16、3大投資の実行 未来の海老名に投資する

●私達の子供、若者へ「教育への投資」

●地元経済へ「地元企業への投資」

●高齢者の方へ「第2のアクティブな人生への投資」

17、スマート農業推進 農業推進エリア開発の実施



全国の飲食店経営者と、
東日本大震災の農作物
風評被害の救済に。



ペッパー君の生みの親、林氏と
AIロボットについて討論！



農家のPRに奮闘

